

～ヤングケアラーを支援するために～

県内初！志木市独自の4段階による実態調査を実施

市では、ヤングケアラーの実態を把握するとともに、ヤングケアラーの可能性のある子どもを早期に発見し、関係部署との連携を図り支援するため、「ヤングケアラーの実態調査」を実施しました。

1 調査の概要

- ・調査期間 令和5年8月31日から令和6年2月7日まで
- ・対象人数 合計3,889人
市内公立小学校 4年生から6年生：2,086人
市内公立中学校 全学年：1,803人

2 調査の方法

第1段階 各小・中学校にて外部講師による「ヤングケアラー講座」を受講後、アンケート調査（記名式）を各自のタブレットで回答（回答人数：3,231人）。

<主な回答結果>

- ・「自分がヤングケアラーだと思う」と回答した児童生徒：2.4%
- ・「家族の中にお世話をしている人がいる」と回答した児童生徒：10.2%

第2段階 市は、第1段階のアンケート結果から、AからDの4つに分類。
（ヤングケアラーアセスメント対象者：478人）

第3段階 各小・中学校は、4つの分類から、ヤングケアラーの可能性のある児童生徒に対して個別の聞き取りなどを実施し、ヤングケアラー評価シートを作成。

第4段階 市は、ヤングケアラー評価シートを確認し、負担が大きくヤングケアラーの可能性が高いと思われる児童生徒を判断（対象人数：43人・対象者全体の1.1%）

3 今後の支援

調査により判断された児童生徒に対して、学校・学校福祉相談員・子ども支援課による見守りや相談の対応を行うとともに、支援などが必要な児童・生徒とその家庭を関係機関に繋げる。また、令和6年度から実施する「ヤングケアラー家事支援事業」を活用し、支援する。

記者発表資料

令和6年2月14日

子ども・健康部子ども支援課

子ども家庭総合支援室

担当者／主任 松永 真知子

電話番号／048-456-5362